

江戸と上毛を 彩る画人たち

18世紀、文人画などの中国絵画に影響を受けておこった南画は、関西で確立され各地へと広まり、地域ごとに独自の展開を見せながら愛好され、近世絵画史を彩る人気画派の一つとなります。

本展では江戸から広まった関東南画を軸に江戸と上毛の画人たちの作品を紹介し、その展開と人々のつながりをたどりながら作品のもつ多彩な魅力に迫ります。

会 期	2021年9月18日(土)～11月7日(日) ※会期中、一部展示替えをおこないます。 [前期] 9月18日(土)～10月17日(日) [後期] 10月19日(火)～11月7日(日)
会 場	群馬県立近代美術館 展示室1
開館時間	午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで) ※月曜日休館(休日の場合はその翌日)
観 覧 料	一般 900(720)円 大高生 450(360)円 ※()内は20名以上の団体割引料金 ※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方 とその介護者1名は無料
そ の 他	新型コロナウイルスの感染状況に応じて変更または中止する場合があります。

今回のトピックス

■上毛ゆかりの画人、続々登場！

谷文晁たにぶんちようや渡辺華山わたなべかざんら江戸を中心に活躍した画人たちと金井烏洲かないうじゅうや矢島群芳やじまぐんなど103点を紹介します。

■関東南画とは？

南画は中国の文人画などの影響を受けて日本で生まれた画派で、はじめ関西で、のちに各地へ広がり地域毎に独自の展開を見せました。特に谷文晁を中心に様々な画風を取り入れ、関西とは異なる展開を見せた南画を「関東南画」と呼びます。

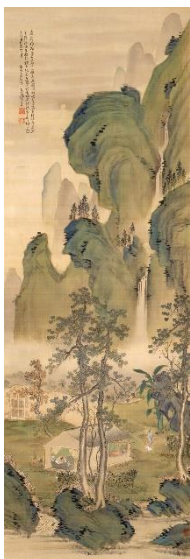
■多彩なゲストを迎えての講演会

会期中、1回の記念講演会と2回のミュージアム・レクチャーを開催します。

■作品解説会でわかりやすく

当館学芸員による作品解説会を開催します。解説を聞いてもっと鑑賞を楽しみましょう。

※詳しくは当館HPをご覧くださいか、お問い合わせください。



金井烏洲《秋月書屋図》
群馬県指定重要文化財
群馬県立近代美術館蔵



椿椿山《君子長命図》
板橋区立美術館蔵



矢島群芳《四季花鳥図》
4幅対のうち秋
高崎市タワー美術館蔵



谷文晁《隅田川兩岸図》
群馬県立近代美術館 戸方庵井上コレクション

問い合わせ先 群馬県立近代美術館
〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町 992-1
TEL.027-346-5560 FAX.027-346-4064



美術館 HP

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



芸術文化振興基金

